

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第5週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2,915例あり、先週(4,107例)の約0.7倍であった。2023年の累積報告数は49,767例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

・**インフルエンザ**(定点把握対象の疾患)

延岡保健所管内のインフルエンザの定点当たり報告数が36.7と流行警報レベル開始基準値である「30」を超えた。宮崎県全体の定点当たりの報告数は22.3となったが、依然流行注意報レベル基準値である「10」を超えているため、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：急性弛緩性麻痺 1 例、侵襲性肺炎菌感染症 1 例、梅毒 2 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	肺結核	痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O146(VT2)
5類	急性弛緩性麻痺	都城	10歳代	男	病原体不明	弛緩性麻痺
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
百日咳	日向	0~4歳	女	—	持続する咳	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,826人(定点当たり38.4)で、前週比123%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

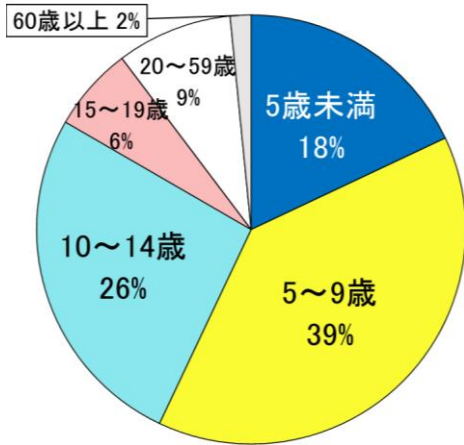
報告数は1,273人(22.3)で、前週比136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(24.6)の約0.9倍であった。延岡(36.7)、都城(26.2)、日向(24.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

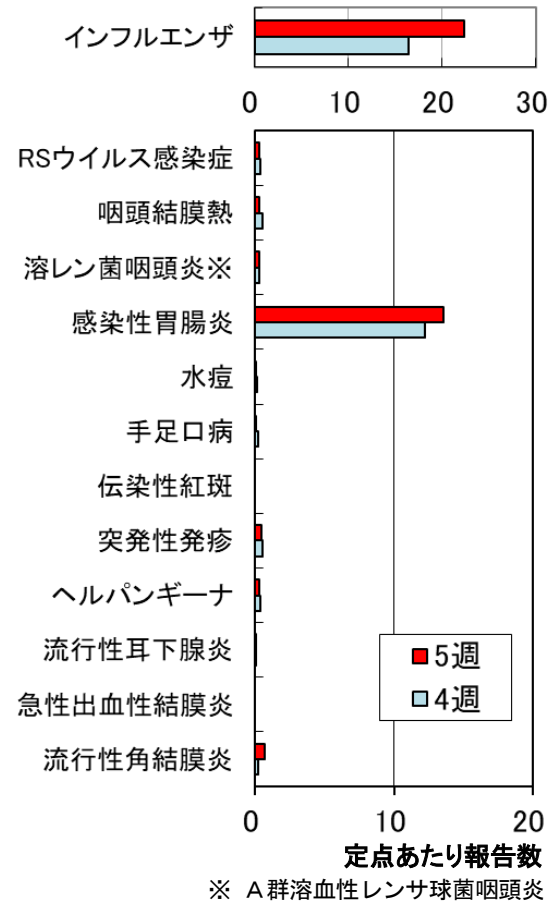
報告数は488人(13.6)で、前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約1.3倍であった。高千穂(27.0)、都城(22.5)、小林(17.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

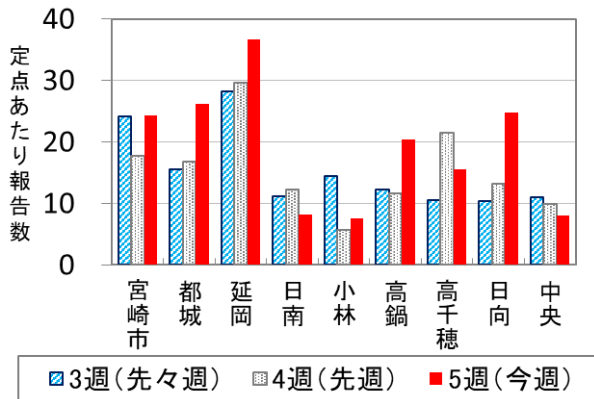
インフルエンザ年齢群別グラフ(第5週)



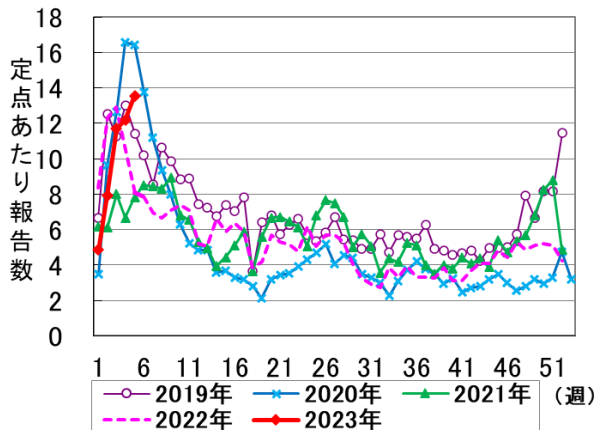
《前週との比較》



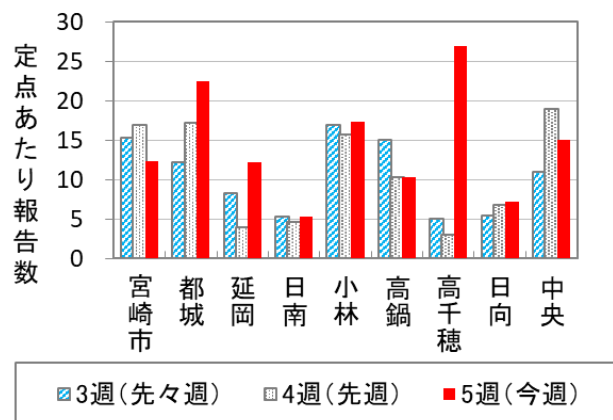
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：高鍋保健所より1例報告があり、年齢は10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(24.3)
都城	インフルエンザ(26.2)、感染性胃腸炎(22.5)
延岡	インフルエンザ(36.7)
日南	なし
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(20.3)
高千穂	インフルエンザ(15.5)、感染性胃腸炎(27.0)
日向	インフルエンザ(24.8)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・感染性胃腸炎(20)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年2月6日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus A6	0～4歳	男	2022.10.25	手足口病、39.7℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2023.01.31
Influenza virus AH3	20歳代	男	2022.11.26	インフルエンザA型疑い、38.0℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2023.01.24
Influenza virus AH3	5～9歳	女	2022.12.26	インフルエンザA型、39.9℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2023.01.30

○インフルエンザと診断された2名からインフルエンザウイルスが分離された。（当県における分離は2020年3月以降初）2023年1月25日現在における全国のインフルエンザウイルス（2022/23シーズン）分離・検出報告数は、AH3亜型が164株、AH1pdm09が9株、B型が2株（ともにビクトリア系統）検出されている。

🇯🇵 全国 2023 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	194 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32 例				
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例
	サル痘	6 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘(入院例)	3 例
	梅毒	171 例	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5 例	百日咳	9 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 51,219 人(10.4)で前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(24.1)の約 0.4 倍であった。沖縄県(41.2)、福井県(25.4)、大阪府(24.3)からの報告が多く、年齢群別では5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 23,230 人(7.4)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約 1.3 倍であった。宮崎県(12.2)、石川県(12.0)、香川県(11.6)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(70定点医療機関)

2023年 第05週(01月30日～02月05日)

疾病名		第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	939	1273	365	262	257	41	30	122	31	149	16
	定点当り	16.47	22.33	24.33	26.20	36.71	8.20	7.50	20.33	15.50	24.83	8.00
RSウイルス 感染症	報告数	14	9	6	2			1				
	定点当り	0.39	0.25	0.60	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	10	6	2				2			
	定点当り	0.53	0.28	0.60	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	10	10	1	4	1	1					3
	定点当り	0.28	0.28	0.10	0.67	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	439	488	124	135	49	16	52	41	27	29	15
	定点当り	12.19	13.56	12.40	22.50	12.25	5.33	17.33	10.25	27.00	7.25	15.00
水痘	報告数	3	1				1					
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	2	1					1			
	定点当り	0.19	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	17	11	2			1	2		1	
	定点当り	0.50	0.47	1.10	0.33	0.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	10	10								
	定点当り	0.36	0.28	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1									1
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	4	4								
	定点当り	0.17	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1						1			
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:57、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第01週～05週)

2類感染症	結核	14例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)		
4類感染症	つつが虫病	5例		
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	梅毒	11例(2)	百日咳	2例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	49767例(2915)		侵襲性肺炎球菌感染症 3例(1)

()内は今週届出分、再掲